

2022 年度 第 5 回理事会 議事録

日 時：2022 年 12 月 9 日（金）13:30～14:30

場 所：対面形式（TKP 品川カンファレンスセンター6B 会議室）

出席者：23 名（理事 17 名、監事 2 名、来賓 1 名、オブザーバー 1 名、事務局 2 名）

（会長）植田昌克 （副会長）菊地義典、池滝重隆

（常務理事）辻 勇、井田斉昭、田口哲也、加納孝樹

（理事）新村徳弥、菊地正人、岩崎真和、高橋丈助、喜多 裕、萩原寛佳、松波俊宣、
藤島忠康、片山正典、寶角雅之、

（監事）矢都木力、宮西啓明

（来賓）経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 横山博之様

（オブザーバー）神崎高級工機製作所株式会社 常務取締役 飯田 勝様

（事務局）本島浩美、矢島茂光

ご挨拶（植田会長）

本日は年の瀬を迎え、ご多忙のところ、日本歯車工業会第 5 回理事会にご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

円安、物価高騰、コロナ感染、ウクライナ侵攻など、気の重くなる出来事が続く中、サッカーワールドカップの日本選手の活躍にたくさんの元気をもらいました。

先月には JIMTOF が対面で開催されました。久しぶりの対面開催になったこともあり、たくさんの来場者で賑わいました。11 月 9 日にはオープニングパーティがヒルトン東京お台場で開催され、日本歯車工業会を代表して本島事務局長と出席しました。コロナ禍にもかかわらず 400 名以上の参加者で、世界中からも多くの関係者が参加されていてその熱気に圧倒されました。私のテーブルにはオーストラリアとインドの工作機械団体の代表者が同席され、是非わが国の展示会にも来てくださいと勧誘され、ここでもたくさんの元気をもらいました。

本日もご多忙の中、経済産業省から横山課長補佐にご出席頂いています。どうぞ宜しくお願い致します。

ご報告（経済産業省 製造産業局 産業機械課 横山課長補佐様）

資料：最近の政策動向

横山課長補佐様より「最近の政策動向」についてご報告頂いた。

議 事

定款第 37 条に則り理事会決議を行った。同様に定款第 39 条に基づき、植田会長、矢都木監事、宮西監事を議事録署名人に選任した。

議 題

1. 審議・承認事項

- 1) 委員会規程改定の件
- 2) 「多点高速硬度評価装置」売却による資産除却についての提案
- 3) 新規入会承認の件

2. 協議事項

1) 2023 年度年間計画の件

3. 報告事項

- 1) 委員会活動報告並びに今後の予定
- 2) 景況報告
- 3) その他

議 題 / 決定・検討事項

1. 審議・承認事項

- 1) 委員会規程改定について 資料 No. 1-1、資料 No. 1-2、資料 No. 1-3
委員会規程改定について井田委員長より説明を行った。
※委員会規程、謝金の支払い運用規程、旅費・交通費支払い運用規程の改定について、賛成多数により承認された。
- 2) 「多点高速硬度評価装置」売却による資産除却についての提案 資料 No. 2
「多点高速硬度評価装置」売却による資産除却について池滝委員長より説明を行った。
※「多点高速硬度評価装置」売却による資産除却について賛成多数により承認された。
- 3) 新規入会承認の件 資料 No. 3
新規入会承認について会長より説明を行った。
※新規入会承認について賛成多数により承認された。

2. 協議事項

- 1) 2023 年度年間計画の件 資料 No. 4
2023 年度年間計画について会長より説明を行った。

3. 報告事項

- 1) 委員会活動報告並びに今後の予定について 資料 No. 5
各委員長より委員会活動報告並びに今後の予定について報告された。
- 2) 景況報告
数社より事業の景況について報告をいただいた。
 - ・製鉄・セメント大型設備、大型工作機分野においては若干上向きかけようとしている状況。
 - ・熱処理・材料メーカーとの対面の機会では、来年についてあまり明るい話題を聞かない。
 - ・年初より受注が高い水準で続いており、コロナ前を超えるような注残を抱える状況で、売り上げは昨年よりもプラスに転じている。
 - ・求人では思うように人が集まらず、また残業要請においては従業員個々による差が生じており、対応の難しさを感じている。
 - ・原材料高については影響が出てきており、価格転嫁も難しく増収減益といった状況。
 - ・建機事業において、来年度は若干上向き傾向と聞いており、ネットや職業訓練校を通じた採用活動を進めた結果、新規で若手の確保ができるようになってきた。来年度も若手の採用に積極的に努めており人材確保ができつつある。今後は特定技能外国人制度などを、う

まく活用しながら進めていく。

- ・生産管理システムの見直しを行い、タブレット管理することでタイムリーな情報を得ることができるようになり、システム化で業務改善につなげることができた。
- ・勤怠管理ではタイムカードからカードリーダーに変更することで、修正程度の作業で済むようになってきており、引き続き改善提案活動を行っていく。
- ・原材料高は価格に転嫁しているが受注が伸びずに悩んでいる。人材は順調に確保できている状況。

3) その他(植田会長)

2023年度 海外視察について

資料 No. 6

海外出張は制約がなくなりつつある傾向にあり、理事会出席者から参加を楽しみにしている若手もいるというご意見もいただきましたので、来年は実施する方向で検討を進めて参ります。

小原歯車工業(株)様による初心者向け実用歯車講座について

200社近くの申し込みをいただいております、御礼申し上げます。ニーズを会員企業へフィードバックできる事業があらためて重要であると実感しています。

資 料

最近の政策動向

- 【資料 No. 1-1】委員会規程 (案)
- 【資料 No. 1-2】謝金の支払い運用規程 (案)
- 【資料 No. 1-3】旅費・交通費支払い運用規程 (案)
- 【資料 No. 2】「多点高速硬度評価装置」売却による資産除却についての提案
- 【資料 No. 3】華為技術日本(株)入会申込書
- 【資料 No. 4】2023年度年間スケジュール (案)
- 【資料 No. 5】委員会活動報告並びに今後の予定
- 【資料 No. 6】2023年度の海外研修 (案)

以上

2022年12月9日

一般社団法人 日本歯車工業会

会長 植田 昌克



監事 矢都木 力



監事 宮西 啓明

